平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場会社名　あすか製薬株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4514　URL　http://www.aska-pharma.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）山口　隆
問合せ先責任者　（役職名）法務広報部長　（氏名）小松　哲　TEL　03-5484-8366
四半期報告書提出予定日　平成21年2月13日

（百万円未満切捨て）

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績（平成20年4月1日～平成20年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	22,707	—	1,083	—	1,330	—	369	—
20年3月期第3四半期	22,600	△2.5	1,493	△26.8	1,727	△18.2	3,769	281.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	13.11	—
20年3月期第3四半期	133.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	49,193	33,621	68.3	1,193.43
20年3月期	50,417	33,743	66.9	1,197.72

（参考）自己資本　21年3月期第3四半期　33,621百万円　20年3月期　33,743百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
（基準日）	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
21年3月期	—	7.00	—	———	———
21年3月期（予想）	———	———	———	7.00	14.00

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無

3. 平成21年3月期の連結業績予想（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,700	5.1	1,820	3.5	2,060	0.9	1,120	△68.1	39.75

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　無
新規　— 社（社名　　）　除外　— 社（社名　　）

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　有
[（注）詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.　その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
① 会計基準等の改正に伴う変更　有
② ①以外の変更　無
[（注）詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.　その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数（普通株式）
① 期末発行済株式数（自己株式を含む）　21年3月期第3四半期 30,563,199株　20年3月期 30,563,199株
② 期末自己株式数　21年3月期第3四半期 2,391,045株　20年3月期 2,389,760株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）　21年3月期第3四半期 28,171,712株　20年3月期第3四半期 28,177,464株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
1. 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

１．連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間におけるわが国経済は、米国に端を発した金融危機が世界の金融資本市場および実体経済へ波及し、株式および為替市場の変動、輸出減少、個人消費の減退等により、景気後退が深刻化する状況で推移しました。

医薬品業界におきましては、昨年４月の業界平均5.2%の薬価基準引き下げ実施、後発品の使用環境が整備され普及拡大が進むなど、薬剤費削減の基調が継続し、前期に引き続き厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと当社グループは、医薬品事業を中心に売上げの確保に努めました結果、薬価改定や主力製品の競争激化の影響はありましたが、新製品として後発医療用医薬品（３品目）および動物用医薬品（１品目）を上市したことにより、売上高は227億7百万円と微増収となりました。

医薬品分野の売上高は215億４千４百万円、動物用医薬品分野の売上高は８億６千８百万円、原料薬品、食品、医療機器、検査等の売上高は２億９千４百万円となりました。

利益面では、売上原価率の増加により、営業利益は10億８千３百万円、経常利益は13億３千万円とそれぞれ減益となりました。四半期純利益も、退職金制度改定（確定拠出年金への一部移行）などに伴う特別利益２億２千２百万円を計上しましたが、特別損失として投資有価証券の評価損８億８千６百万円を計上したことにより、３億６千９百万円と減益となりました。

２．連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ12億２千３百万円減少しております。この主な要因は、退職金制度の改定により、移管資産額を確定拠出移行時未払金に計上しましたが、退職給付引当金、未払法人税等が減少したためであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度から1.4ポイント上昇し68.3%となっております。

３．連結業績予想に関する定性的情報

平成21年３月期の通期の業績予想につきましては、平成20年５月15日の決算発表時の予想数値に変更はありません。

４．その他

（１）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（簡便な会計処理）

① たな卸資産の評価方法

当第３四半期連結会計期間末のたな卸資産の算出については、実地たな卸を省略し、第２四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められますので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理）

税金費用の計算

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しておりま

す。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、総平均法による低価法によっておりましたが、第１四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第９号　平成18年７月５日）が適用されたことに伴い、総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

５．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成20年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成20年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,999	5,701
受取手形及び売掛金	8,971	8,389
有価証券	2,980	8,080
商品及び製品	3,437	3,050
仕掛品	623	657
原材料及び貯蔵品	1,014	811
その他	2,173	1,361
流動資産合計	25,199	28,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,901	5,124
その他（純額）	9,225	7,002
有形固定資産合計	14,127	12,127
無形固定資産	269	157
投資その他の資産		
投資有価証券	4,345	5,386
その他	5,395	4,839
貸倒引当金	△143	△148
投資その他の資産合計	9,597	10,078
固定資産合計	23,994	22,363
資産合計	49,193	50,417

（単位：百万円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成20年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成20年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,642	3,370
短期借入金	133	183
未払法人税等	23	954
賞与引当金	612	1,297
その他の引当金	11	10
その他	2,051	1,517
流動負債合計	6,474	7,333
固定負債		
長期借入金	960	1,023
確定拠出年金移行時未払金	1,154	－
退職給付引当金	6,580	7,934
その他の引当金	238	220
その他	162	161
固定負債合計	9,097	9,339
負債合計	15,572	16,673
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	845	846
利益剰余金	33,914	33,939
自己株式	△2,303	△2,302
株主資本合計	33,654	33,681
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△32	62
評価・換算差額等合計	△32	62
純資産合計	33,621	33,743
負債純資産合計	49,193	50,417

（２）四半期連結損益計算書
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年12月31日）
売上高	22,707
売上原価	8,261
売上総利益	14,445
返品調整引当金繰入額	0
差引売上総利益	14,444
販売費及び一般管理費	13,360
営業利益	1,083
営業外収益	
受取利息	40
受取配当金	83
不動産賃貸料	137
その他	67
営業外収益合計	328
営業外費用	
支払利息	18
たな卸資産処分損	27
固定資産処分損	5
その他	29
営業外費用合計	81
経常利益	1,330
特別利益	
退職給付制度終了益	141
投資有価証券清算益	81
特別利益合計	222
特別損失	
投資有価証券評価損	886
特別損失合計	886
税金等調整前四半期純利益	666
法人税等	297
四半期純利益	369

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成20年４月１日 至　平成20年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	666
減価償却費	627
投資有価証券評価損益（△は益）	886
投資有価証券清算損益（△は益）	△81
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△1,353
賞与引当金の増減額（△は減少）	△684
受取利息及び受取配当金	△123
支払利息	18
売上債権の増減額（△は増加）	△581
たな卸資産の増減額（△は増加）	△554
仕入債務の増減額（△は減少）	235
確定拠出年金移行に伴う未払金の増減額（△は減少）	1,346
その他	△20
小計	379
利息及び配当金の受取額	121
利息の支払額	△18
法人税等の支払額	△1,659
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,176
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,524
投資有価証券の清算による収入	99
その他	△800
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,225
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の純増減額（△は増加）	△1
配当金の支払額	△370
その他	△112
財務活動によるキャッシュ・フロー	△484
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△4,886
現金及び現金同等物の期首残高	12,765
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,879

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期にかかる財務諸表

四半期連結損益計算書

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成19年４月１日 至　平成19年12月31日）
区分	金額（百万円）
Ⅰ　売上高	22,600
Ⅱ　売上原価	7,633
売上総利益	14,966
返品調整引当金繰入額（△戻入額）	△5
差引売上総利益	14,971
Ⅲ　販売費及び一般管理費	13,477
営業利益	1,493
Ⅳ　営業外収益	382
Ⅴ　営業外費用	148
経常利益	1,727
Ⅵ　特別利益	4,771
Ⅶ　特別損失	32
税金等調整前四半期純利益	6,466
法人税、住民税及び事業税	944
法人税等調整額	1,752
四半期純利益	3,769